

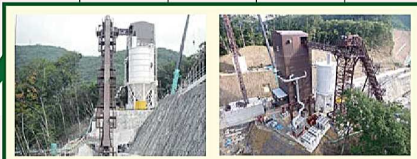
掘削・プラント工事

堤体打設: 工事の最盛期!



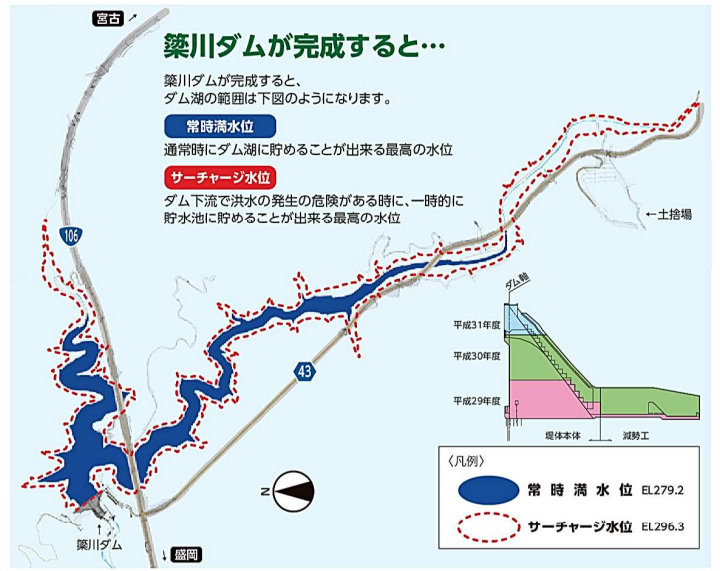
転流

築川の流れを左岸側の仮排水路トンネル内に迂回させます。対象流量は2年確率の95m³/sです。工事完了後は閉そく(トンネル内をコンクリートで閉め切り)します。



① 骨材輸送設備
盛岡市周辺の砕石工場より購入した骨材をベルトコンベヤによりコンクリート製造設備へ輸送します。

② コンクリート製造設備
セメント、砕石、砂と水を正確に計量し、混合・練り混ぜ、ダム本体に使用するコンクリートを製造します。



① リップ発掘
岩盤の割れ目にブルドーザに装着した鉄の爪(リップ)を引っかけて岩盤を掘り起こします。



② 発破
硬い岩盤はクローラドリルで削孔した穴に、爆薬を詰めて発破して、岩盤を砕くことにより掘り起こします。



③ 積込み・運搬
大型重機(バックホウ)で10tダンブに積込み、旧県道～一般道を走行して、土捨場まで運搬します。



① 岩盤面処理
ダム本体に直接、接する箇所の岩盤は、不良岩(浮石・砂・粘土)を丁寧に除去して、きれいに清掃します。



② 型枠
ダムの上下流面は、クレーンを使用して移動・設置するスライドフォーム(足場付きの大型型枠)を使用します。



③ ダムコンクリート
ダムのコンクリートは、大型重機に装着した内部振動機(φ130mm)を使用して締めます。岩盤際や型枠際等の狭い箇所は、人力にて丁寧に締めます。



④ ケーブルクレーン
ダムを建設する谷をまたぐように、クレーン付きのケーブルを設置して、バケット(4.5m)に入れたコンクリートを、運搬します。



⑤ トランスファーカ
コンクリート製造設備で製造されたコンクリートをケーブルクレーンのバケットまで運搬します。



⑥ バケット
トランスファーカから受けたコンクリートを堤体内に投入します。